

## 学級「経営」ということ

okazaki 2020/10/11 13:00~14:30

学校マガジン『お・は』の編集人。子育て雑誌『ち・お』編集協力人。愛知教育大保健体育科卒、名古屋市内で教員を45年。定年後も小学校で非常勤講師（8年目）。フリースクールや乳幼児からの子育て・学校教育・男性の悩みにつきあう。現在YouTube「おかざき学級」で授業放映。67歳。書籍は「岡崎勝」でAmazon検索を

0) はじめに

### 1) 子どもたちと出会うとき

低学年 まず、学校は生活の場＝居場所であることの安心と楽しさへの期待を！

中学年 次に、個性とははみだすことなんだという原則と折り合いをつける

高学年 そして、一人の人間として尊重するとはどうことかを学び合う

### 2) 教室は変化を期待する生活の場であること

- ① 日常的営みと変化・意外性とのバランス
- ② 自由と危険。ゼロリスク志向は最悪の選択
- ③ 学校全体、学年全体というしがらみとの付き合い

### 3) 問題、事件、トラブルはすべて学習の場

- ① 問題は起きる前に「提起」されている
- ② 「きまり」とは何か、「反省」とは何か
- ③ 「問題」は子どもなのか？ 教師なのか？

### 4) 親の愛を正しく怖れる

- ① モンスターペアレントと名付けることのむなしさ
- ② 親は子どもにとっても教師にとっても最大の味方であり敵であること
- ③ 親の小さな声や沈黙の意味を聞く耳と感受する力を持つこと

### 5) 教師は何を学んだらよいのか？

- ① 教師自身の教育愛・正義・価値観を吟味すること
- ② 「主体的対話的で深い学び」が必要なのはだれか
- ③ 世界が語れる教師であるために

以上

次回は 10月17日(土)午後7時より90分 授業について